

かわしままち 川島町

川島町役場 ☎049-297-1811
http://www.town.kawajima.saitama.jp

川島町は、昭和29年に6つの村が合併してできた町です。埼玉県のほぼ中央に位置し、四方を荒川・入間川・越辺川・都幾川及び市野川などの河川に囲まれた立地から「川島」の名がつけました。それら河川数は、水と緑が豊かな自然の味わいを残す首都圏のオアシスとなっています。

また、高低差のほとんどない平坦な土地は、古くから豊富な水による米作が盛んで、その技術は現在に引き継がれています。しかし、その豊富な水は、ときとして水害をもたらし尊い命を奪い甚大な被害を被りました。先人達のその水害との闘いも町の歴史として語り継がれています。

平成20年3月29日には、首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジが開通し、自然との調和・共存を目指す新たな川島町の創造が始まりました。

イメージキャラクター
「かわべえ」



見る



32 へいせい もりこうえん 平成の森公園

◎川島町大字下ハツ林920
MAP M-3

☎049-297-5701 ②200台
身障者対応あり ◎JR川越線・東武東上線川越駅より東武バス鴻巣免許センター行き「川島農協下車」徒歩15分
町のほぼ中央にあり「水と緑のオアシスタウン川島」をイメージ化した公園。園内は、広大なグリーンの多目的広場を中心に池や水路が走り、スポーツや釣り、アスレチックなどができます。また季節には、しょうぶや日本一の長さのバラのトンネルがあり彩りを添えています。

29 ひがなばな ぐんせいち 彼岸花の群生地

◎川島町大字吹塚地先、越辺川堤防 MAP K-3
◎JR川越線・東武東上線川越駅より東武バス東松山駅行き「戸守」下車徒歩10分

越辺川に架かる天神橋付近の堤防は、秋分の日前後になると自然生息による彼岸花が咲き誇り、その艶やかさは、一幅の錦絵のように壮観です。



花



30 農業商工祭

◎川島町平成の森公園 MAP M-3

☎049-299-1760 (川島町農政産業課)

町の農業・商工団体が一体となり開催するお祭りです。地元の農産物・加工品などが展示即売され、子どもから大人まで楽しむことができます。町のマスコットキャラクター「かわべえ」も登場します。

33 かわしま いっしゅう 川島一周ハイク

◎川島町外周堤防
MAP L-5

☎049-297-1611

◎JR川越線・東武東上線川越駅より東武バス東松山駅又は鴻巣免許センター行き「落合橋」下車または川越駅より東武バス桶川駅行き「釘無土手上」下車

川島町を取り囲む堤防を回ると約30Kmあります。四季折々の自然を感じながらウォーキングが楽しめます。特に春は菜の花が咲き誇り、菜の花のじゅうたんの上を歩いているかのようです。また、4月29日には町の行事として、川島一周ハイクが催されています。



歩く

34 いぐさししまい 伊草獅子舞



◎川島町大字伊草225 MAP L-4

◎JR川越線・東武東上線川越駅より東武バス東松山駅行き「伊草学校前」下車徒歩5分

伊草宿のささら獅子舞の起源は江戸時代中期、明和2年の頃といわれています。五穀豊穡と家内安全を神や仏に願いをかけて舞を奉納する村ぐるみの行事です。祭礼は毎年9月中旬に行われています。



35 かわしま 川島いちご

名物
名産

◎川島町大字南園部239番地1 (川島農産物直売所) MAP L-3

☎049-297-0522 ②50台 身障者対応あり

◎JR川越線・東武東上線川越駅より東武バス鴻巣免許センター行き「上ハツ林」下車徒歩15分

昭和33年ごろから始まったいちご栽培は、その歴史とともに川島町の特産として県内でも有数の産地となっています。11月下旬から翌年5月まで収穫されるいちごは、新鮮なうちに消費者へ届けられます。また、近年は川島農産物直売所でお買い求めいただけます。

「すったて」と「かわしま呉汁」



◎川島町内
(川島町商工会)

☎049-297-6565

町内約20店の飲食店では、地元の食材を使った夏は「すったて」、冬は「かわしま呉汁」がご賞味いただけます。町には昔から家庭料理の「すったて」や「呉汁」もありますが、期間中は飲食店がそれぞれ工夫を凝らした味を提供しています。

食べる